



信頼・団結・前進

=新たな時代にさらなる挑戦=

# くまもと

発行 九州旅客鉄道労働組合  
熊本地方本部

熊本市中央区南熊本3丁目14番1号  
電話 NTT 096-373-8911  
JR 094-2345

発行責任者 濱田 享二  
編集責任者 井手 正成  
教育広報部



## 交通・労働政策プロジェクト

# 3つのプロジェクトを推進



今後、来年2月の地本委員会までに中間答申、8月の地本大会までに最終答申をまとめることを確認。各プロジェクトは必要に応じて会議を開催し、地本の諮問に沿った検討を行うこととしています。このうち「高年齢者処遇改善プロジェクト」については、10月13日に第1回を開催し、会社や社会保障制度の現状について

熊本地本は、交通・労働政策ともに多くの課題を抱えています。政策課題の取り組みは他人任せにせず、現場で働く者の視点や意見が反映されることが重要です。地本では各課題に対するプロジェクトを設置して、1年間かけて集中的に議論していくことを8月24日に開催した第2回執行委員会で決定、始動しています。

## 課題解決へ働く者の視点で政策立案

て学習しました。

なお、内容次第で分会における議論や現地調査・勉強会など幅広く行いますので、ご協力をお願いします。

### 肥薩響伯・復興プロジェクト

【諮問】豪雨災害で被害を受けた肥薩線の復旧・復興のあり方を考える。  
【構成】地本、分会（乗務・熊駅・支鉄・県南）

## ご協力ありがとうございました

# 第27回賃金実態調査

# 回収率94.6% (前回91.5%)

皆様のご協力により、昨年度を上回る結果となりました。大切なデータをしっかり今後の交渉などに活用します。今後ともご協力よろしくお願い致します。

**新型コロナウイルス感染症を予防しよう!**

手を洗うモン #WashHands

換気をするモン #OpenWindow

くっつかないモン #KeepDistance

©2010 熊本県くまもん

【諮問】九州新幹線西九州ルートの開業にむけた課題抽出・解決を図る。  
【構成】地本、分会（総車・幹工）

しかし、米英仏露中の5大国をはじめ核保有国は参加しておらず、実効性が課題となっております。世界唯一の戦争被爆国である日本も条約に参加せず、被爆者

を中心に国内でも参加を求める声が高まっています。熊本県内でも「高校生平和大使」選出や「高校生1万人署名活動」が行われていますが、これら地道な取り組みの成果と言えます。熊本地本は、今後とも高校生1万人署名の取り組みに協力するとともに、核兵器のない平和な社会の実現に取り組みしていきます。

核兵器の開発から使用までの一切を禁じる核兵器禁止条約に批准する国・地域が50カ国・地域に達し、来年1月22日に発効することとなりました。

同条約の前文には「被爆者の受け入れがたい苦しみ」に留意する」と明記されており、今後とも核兵器の非人道性を訴えるものとして、大きな意味を持つこととなります。

大使任命式/高校生平和活動報告 核兵器禁止条約国民会議熊本県協議会

今年度の高校生平和大使に選ばれた水上真菜さん(右)

## 核兵器禁止条約が来年1月発効

## 高校生の地道な取り組み実を結ぶ

【諮問】高年齢者を取り巻く現状を把握し、処遇改善のあり方を考える。  
【構成】地本、分会（車両・乗務・工務・熊駅）

西九州ルート開業プロジェクト

【諮問】九州新幹線西九州ルートの開業にむけた課題抽出・解決を図る。  
【構成】地本、分会（総車・幹工）

高年齢者処遇改善プロジェクト